

(22) キンボール

実施形態	指導可能（指導依頼をせずに団体が自主で活動できる。）		自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協同性	リフレッシュ・体力
提出書類	指導依頼用紙 ※団体が自主で活動する場合は提出不要						
必要経費	なし				★★	★★★★	★★
概要 (セールスポイント)	キンボールとは直径122cmの大きなボールをチームで協力して、床に落とさないようにヒットやレシーブを繰り返すスポーツです。						
諸条件	場所	体育館	対象	小学校低学年以上			
	所用時間	1.5時間程度	人数	50人程度まで			
	時期	通年	天候	なし			
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物			
	キンボールセット タイマー 等			運動に適した服装 体育館シューズ 笛 等			
活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容				備考
	20分	準備・事前指導 安全指導	【団体及び交流の家職員】 ・道具の受け取り ・ボールやコートへの準備 ・職員によるルール説明（必要であれば）				
	60分	活動	【団体】  ●=ヒットチーム, ■▲=レシーブチーム				
		後片付け	【団体】 ・人員・健康状態の確認 ・道具の返却 ・活動のふりかえり				

キンボールのルール

直径 122cm、約 1kg の大きなボールを使って、1 チーム 4 名が、3 チームで同時にプレーするユニークなスポーツ！

参加人数

1 チーム 4 名でプレーします。メンバーは最大 8 名まで登録でき、プレイヤーは何回でも自由に交代できます。

ゲーム設定

コートサイズは 18~21m×18~21m、正方形でなくても OK。

1 ピリオド 7 分の 1 ピリオドマッチとします。

※公式ゲームでは 1 ピリオド 15 分の 3 ピリオドマッチ。

試合時間・ピリオド数等は、参加人数や参加者の年齢等に応じて変更する場合があります。

オムニキン！

みんなで楽しみましょう！
という意味です。
毎回、大きな声で
いわないといけません。

ゲームの流れ

(1) じゃんけんなどでヒット権（サーブ権）を決めます。

ヒット権を得たチームは、コートの中央につき、ヒッター以外の 3 人がボールを支えます。それ以外の 2 チームは、各チーム 4 名でコート内すべてを守れるよう守備につきます。

(2) ヒットは、ヒットチームの 1 人が“オムニキン”と大きな声で言い、続けて相手チーム（ゼッケンの色）をコールしてから腰より上の部分（手や腕など）を使っておこないます。

ヒット時には、チーム全員が必ずボールに触れていなければなりません。

(3) 指定されたチームは、ボールを床に落とさないようレシーブします。レシーブ時は、全身どこを使っても OK。レシーブに失敗すると、他の 2 チームにそれぞれ 1 点ずつ得点が入ります。得点が入った後のゲーム再開は、レシーブの失敗や反則をしたチームがその場所から 2m の範囲内でサーブをして行きます。

(4) レシーブに成功したら、ボールを持って走っても、仲間にパスしても OK。今度はレシーブしたチームが、(2) と同じようにヒットします。その繰り返しです。

反則について

◎ヒット時の反則について

- ・セットされていない状態でヒットを行った場合
- ・打つ前のコールを間違える、または声が小さすぎて審判にも聞こえない場合
- ・ヒットしたボールが 1.8m 以上飛ばなかった場合
- ・ヒットしたボールが水平方向より下向きに飛んだ場合
- ・ヒットしたボールが誰にも触れることなくコート外に飛んだ場合

◎レシーブ時の反則について

- ・両足がコートから出た場合

※いずれの場合も、反則したチーム以外の 2 チームに 1 点ずつ入ります。